

# 深堀小学校の3年生はすごい!!



令和6年1月24日（函館市立深堀小学校の3年生の皆さん）

昨年度から始まった深堀小学校のノーマリー教室は、点字と車椅子と手話を外部講師から学ぶプログラムです。私は「手話」を担当したのですが、聴覚障がい当事者ではない私が手話や指文字だけをやっても意味が無いと思い、授業の内容を考えました。貴重な時間を2時間も使わせてもらい「聴覚障がいの理解」と「手話・指文字体験」を学ぶ時間として授業をさせていただきました。

特別支援学級を含む30数名の子どもたちは、まず、会場となった図書室に元気に挨拶をしながら入ってきてくれました。気持ちの良い挨拶に「すごい。」と思いました。さらに、お渡ししていた絵本や資料に目を通し、多くの子どもたちが事前に自分の名前を指文字で練習してくれていたことに驚きました。これもまた「すごい。」と思いました。学習に向かう姿勢が素晴らしいです。そして、休み時間には、私を取り囲み「～という手話はどうやりますか？」とか「自分の名前を指文字でできます。」と見せてくれたりして過ごしました。興味をもってきているな。（興味・関心が）「すごいな。」と思いました。

学習内容としては、手話や指文字を行う前に、事前に本校の5年生以上の児童生徒から聞いておいた「皆さんに伝えたいこと」をお伝えしました。本校の児童生徒にとっては、このように自分の事を考え説明することは、セルフアドボカシーの力（自らの障がいについて説明し、必要なサポートを得られるように現状を変更する力）に結び付くと考えているため、小中学部みんなで取り組みました。深堀小学校の3年生には、「気になるところや大切だと思うことに赤線を引いて聞いてね。」と伝えると、みんなプリントを真っ赤にして、読み終わると質問や意見が止まりませんでした。これもまた「すごかった。」このような皆さんが、近くで学んでくれていることを心強く思いました。

「これからも、皆さんの近くにある聾学校と聾学校で学ぶ子どもたちをよろしくお願いします。」と、思いました。

はこだて しりつふかほりしょうがっこう ねんせい  
函館市立深堀小学校3年生

じしゆ きようしつ ちようかくしやう  
自主ノーマリー教室【聴覚障がい】について

- 1 日 時 令和6年1月24日（水） 9：30～11：20  
(2校時 9:30～10:15、3校時 10:35～11:20)
- 2 対 象 3年生のみなさん

3 函館聾学校の児童生徒が深堀小学校の皆さんに伝えたいこと

【小5】

- ① ゆっくり大きな声で話してほしいです。
- ② 周りが話しているとき、後ろからの声が聞こえません。肩を叩いてから話してくれるとわかりやすいです。
- ③ 補聴器の電池が無くなったらすぐ聞こえなくなっちゃうから、取り替えることに時間がかかる時があります。
- ④ 聾学校では手話を使いながら深堀小学校と同じ勉強をしています。  
みなさんも簡単な手話を覚えてほしいなと思います。

【小6】

- 補聴器にはたくさんの種類があるよ。
- 人と話すときに、相手の言っていることが聞き取れなくて、「もう一回お願いします。」というのですが、あまり言い過ぎると相手をイラつかせてしまいます。相手をイラつかせたくないので、あまり聞こえなくても聞こえているふりをすることがあります。

【中2】

- 障がい者の中にもそれぞれ違った悩みがあります。口話が苦手で手話しか使えない人や、手話が苦手で口話じゃないと意思疎通できない人もいます。

(※口話とは・・・音声を使って口で話すこと。)

- 人工内耳や補聴器を付けていても、放送やアナウンス、テレビの音が聞こえにくく、字幕などがなくてわかりにくいです。

(※人工内耳とは・・・病院で行う治療で、手術をして頭に電極を入れ、脳に直接電気信号を送って聞く仕組みや機械のこと。)

- 耳が聞こえにくいことを理由に心配したり馬鹿にしたりせず、友達のように話し掛けてくれると嬉しいです。

### 【中3】

- 補聴器をしていると周りから不思議な目で見られることが多く、自分も周りを気にしてしまう事があります。
- 買い物をするときに、店員さんとのコミュニケーション（お話）が難しいです。（初めての人と話すとき、声が小さかったり、早口だったりすると、聞き取れないため聞き取れないことが多いです。）
- 話をしているときに、聞き取れなくて「もう一度お願いします。」という呆れた顔をされたことがあります。（悪口を言われたこともありました。）
- 耳の障がいのことを知らない人もいます。（バカにされることもありました。）
- マスクをしていると口が見えなので、口、表情、顔の動きが分からずに聞き取りが難しくなります。
- 補聴器をはせずと全く聞こえない人もいます。（補聴器をはずして聴こえる人もいます。）
- 聞こえないからといって、大きな声を出せばいいわけではないことがあります。（早口ではなく、声の高さなどに注意して、ゆっくりと、ちょっと大きな声で表情を付けて話してくれるとわかりやすいです。）
- 1番いいのは手話を使って話してくればわかりやすいです。口話と手話を使ってもらえるとわかりやすいです。（耳が聞こえる人でも手話があれば便利だと思いますよ。）
- たくさんの方が集まっているときやゲームセンターなど、雑音の中で、話されても全く聞き取れません。
- 場所によっては、放送の声が聞きにくいところもあります。
- 耳が聞こえない人は、それぞれ聞き取りやすい音や聞き取りにくい音が違います。
- 発音がおかしくなることもあります。（びっくりされることもありました。）  
（「さ」なのか「た」なのかあいまいな発音になり、うまく発音できずに伝わらないことがありました。私は、サ行、タ行の発音が苦手です。）
- 人それぞれ聴こえ方が違います。
- 耳が聞こえないから全てできないというわけではないです。
- 将来ろうの人でも働きやすい（過ごしやすい）環境を広げて行きたいので協力してほしいです。